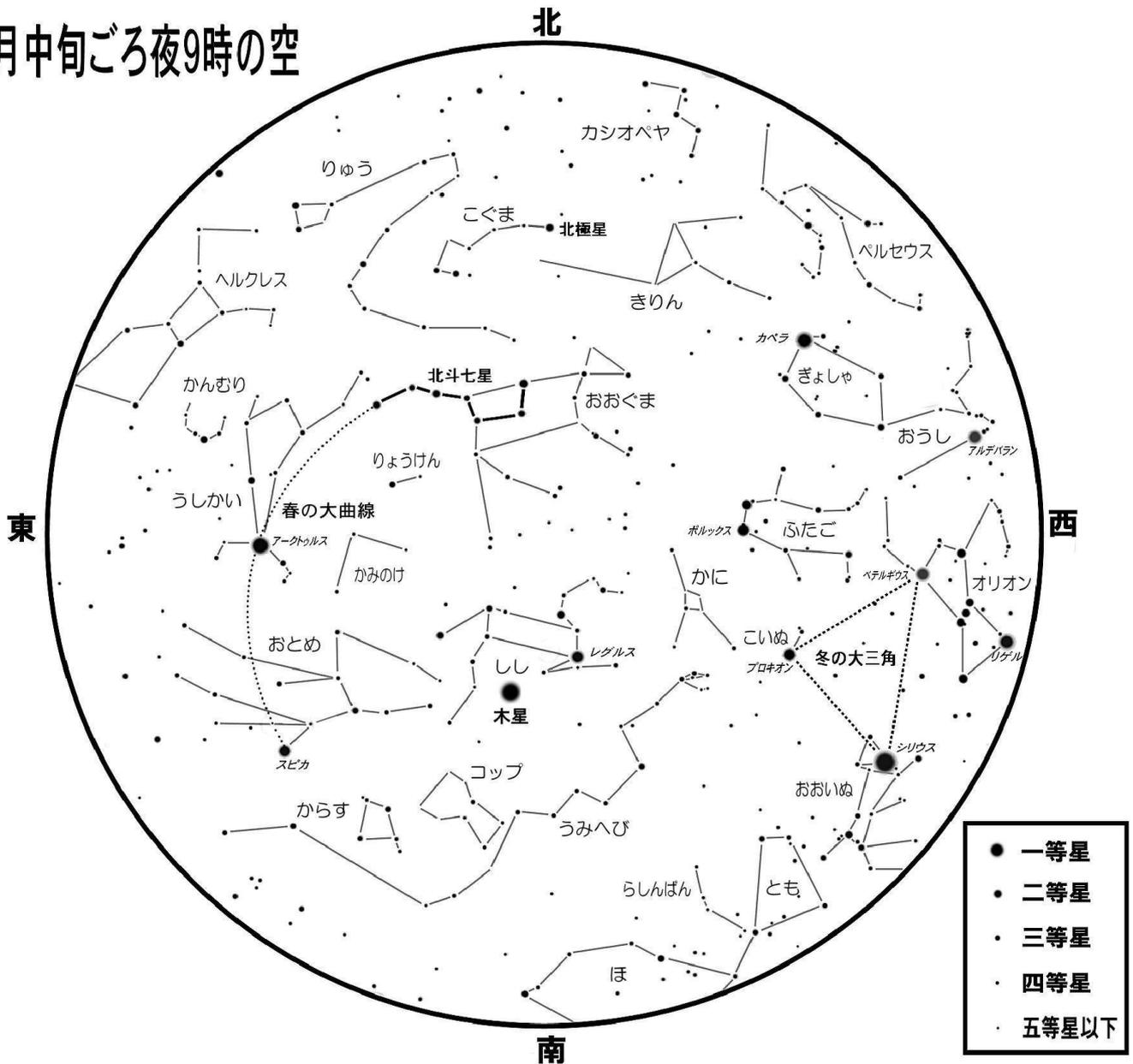


# 阿南市科学センター 4月の星空案内

4月中旬ごろ夜9時の空



寒い冬が終わり、いよいよ春を迎えました。華やかな冬の星座は西の空へと追いやられ、北の空には春を代表する星の並び、北斗七星が大変良く目立ってきました。しかし、まだまだ夜間は冷えこんだりすることが多いですから、星を見るときには風邪などひかないように注意が必要です。

さて、春先は大陸からやって来る黄砂の影響もあり、晴れても星がすっきりとしないことが多いのですが、かえて、星の光がやわらかく見え、これはこれで春らしいとも言えます。今年はこの春の星座の中に明るい木星がありますので、少しだけ派手な春の夜空を楽しむことができるでしょう。

天体観望会のご予約、お問い合わせは

阿南市科学センター 徳島県阿南市那賀川町上福井南川洲 8-1 電話 0884-42-1600

## 4月の月と惑星

月の満ち欠け

月の形	☾ (下弦の月)	● 新月	☽ (上弦の月)	○ 満月	☾ (下弦の月)
見える日	1日	7日	14日	22日	30日

惑星

	水星 	金星 	火星 	木星 	土星 
上旬	日の入り直後、西の超低空に見える (-1.2→-0.2→1.4等)	太陽に近く観察は難しい	明け方、南の空に見える (-0.6→1.3等級)	午後8時ころ南東 ～南の空に見える (-2.4 → -2.3等級)	明け方、南の空に見える (0.1等級)
中旬					
下旬					

## 天文館夜間天体観望会 4月の見もの天体 ～りょうけん座のM3～

この時期の北半球は夜、きらびやかな星雲・星団が存在する天の川がほとんど見られない方向を向くことから、他の季節に比べて、見やすい星雲や星団が非常に少ないのが特徴です。そんな春の星雲・星団の中でも比較の見やすい天体のひとつが、今回ご紹介するりょうけん座の球状星団、M3です。

この星団は、地球からの距離は3万4000光年ほど離れていますが、その明るさは7等級と比較的明るく、小さな望遠鏡でも簡単にその存在は確認することができます。また、口径20cmを超えるような望遠鏡で、200倍ほどに拡大してみると、星団を構成する星の粒がよく見え、その姿はたいへん見事です。



これから、初夏にかけて、天文館で行う天体観望会でもご覧いただく予定ですので、ぜひ観望会に参加してこの見事な星団をご覧下さい。

## 今月の天文現象

### 4月27日 火星とさそり座のアンタレスが接近

現在、5月31日の地球接近に向け、明け方の南の空でだんだんと火星が明るくなってきています。特に今年の火星は、2018年の夏に起こる15年ぶりの「大接近」には及ばないものの、比較的表面的様子が観察しやすい「中接近」にあたり、小口径の天体望遠鏡でも、その火星表面にある黒ずんだ模様や、極地方にある氷の塊「極冠」も確認することができます。

また、今回の火星接近は、さそり座の一等星、アンタレスの近くで起こります。そもそも、さそり座の一等星「アンタレス」の名前の由来は、火星がアンタレスのそばで輝くとき、ともにその赤い色を競うように見えたことから、火星の敵という意味の、「アンチ・アーレス」からきているのです。

今月27日明け方にはこれらアンタレスと火星が最接近し、いつも以上に赤い星の競演を楽しむことができます。また、近くには土星や、月もありますので、少し早起きをして、南の空で輝く4つの明るい天体を楽しんでみるのも良いかもしれません。



天体観望会のご予約、お問い合わせは

阿南市科学センター 徳島県阿南市那賀川町上福井南川洲 8-1 電話 0884-42-1600